

外務省報道課

内閣情報部

一、英駐日本副大使送（二二日）一

（東京都市通信局聴取）

一、中國外交部長は日獨伊三國同盟に關し次の様な談話を發表、中央社記者は王外交部長に中

國の態度につき訊ねた所外交部長は左の如く語つた。

日、獨、伊三國は遂に九月二十七日柏林に於て同盟條約を調印するに至つた、日本は歐洲新秩序に於ける獨伊の領土的地位を承認し獨伊は東亞新秩序建設に於ける日本の領土的地位を承認した、かくて歐洲及アジアに於て攻防的地位權益を得た事は明かである、中國の目的は國際權益を擁護し平等の地位に立つて友好關係を維持することである、日本は新秩序の口實をかりて秩序を破るもので中國政府は反対である、中國政府と人民とは引續き抗戦に努力し東亞新秩序を承認せざるのみならず領土的地位も承認しないものである云々、

一、タイ國安南に侵入す、香港よりの確實なる情報によれば二十九日タイ國軍は安南國境に侵入國境より二十里の地點に至つた、タイ國は日本に唆かされ安南を侵略するのではないかと見られ威行が注目されて居る。*

一、日本は在英日本人七五〇名に引揚命令を發した、日、獨、伊三國軍事同盟締結後日英兩國の關係惡化を物語るものとして注目されて居る。

一米ハル國務長官は三十日英大使と一緒に何事か協議したが時節柄注目されて居る。

米國は英米合作を強化對日制裁をなすべしと強調して居る。ワシントン發によれば某觀察家は米は一步進んで英との合作を強化して三國に對抗すべく十月十八日にビルマートを再開したる上カナダゴアルミ銅其他の軍用品の對日禁輸を斷言すべしと論じ日本船舶は英領内に於て多大の困難に陥るであらうとされ注目されて居る。

ワシントン發 U.P.電に依るこ、ハーバード大學法學部長その他十一名の著名な人々がスター・ボスター紙に論文を掲げ、日本は太平洋の霸權を覗つて居るが米國は之を阻止すべきである。

日本を制裁する方法としては軍需品の禁輸、對支援助の強化、シンガポール海軍基地の共用化等を英國に主張すること等があると強論して居る。

ロンドン發リド電に依るこ來る十月十八日滿了となるビルマート閉鎖に對し英政府は再開の方針が決定したこ、尙ロンドン發ルーター電によるこ一般人士の意見としてはビルマートの開放は復興されるべしとされて居る。

ノル國務長官は記者圓この會見席上、ビルマートの禁絶に關しては七月既に反対を表明して置いたが今日もその態度は變らない、米國は英國に對しビルマート開放すべしとの意見を表明して居るこ語つた。

一、講演（妨害電波激烈を極め大部分不明）

…日本は參戰の義務を負つたので安南蘭印を侵すであらうし、大東亞新秩序を承認された以上はマレー、フリツビンも包含する譯である、二十一日の御前會議は即ち三國軍事同盟に關するもので翌二十二日には日本は安南侵入の戰をして居るのである、…不明…日本は同盟に入り不介入は破棄されたが今直ちに參戰はしないが米國の制裁は明白となつた、獨伊は經濟上軍事上日本を援助する事は不可能である以上對日經濟制裁を發動し、太平洋の共同防衛を行ひ、英米は海上より、中國が陸上より攻むるに於ては日本は疑もなく崩壊する。

外國宣傳情報第七編

内閣情報部 〇・二

一、エーゼン獨語放送（二日）一

（東京都市通信局譯取）

「新任駐ソ日本大使鶴川中將は十月十一日モスクワへ向ふ由なるが、氏の就任は日ソ國交調

整に多大の期待をかけられてゐる。」

「獨逸の夏季時間は尙當分延長することになつた。」

「獨空軍は昨日も今日も間断なく英本土を猛烈してゐるがハーン大尉は殊勳を樹てた。昨日

英機十五機を擊落獨側は二機を失つた。」

「ハノーヴァーに侵入せる英機は又もや明昧に標識せる病院を爆撃した。
（状態、雜音多く、頗る惡し）」